

今週のセルグループ(赤字)		2月6日(日)~2月12日(土)	
セル(グループ)	今回の日時	場所	前回の証しなど
リバイバル 北山姉		LINE 電話	1/26 名 中止
グレイス 鈴木千姉	2/11(金) 午後8:30	鈴木宅	1/28 3名 落ち込むと自己中心になりいやな思いになってくる。どんなときも人のことを思いたい。愛されているから、私のための主の御計画がある。委ねていけば良いのだ。
Gospel 鈴木尚姉	2/12(土) 午前10:00	Zoomで 交わり	1/22 2名 復活のキリストが私のうちにおられるのだから、諦める必要はない。
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	1/30 8名 賛美の祈りの中で、神様を利用しているのではないかと罪が示されて悔い改めました。
からし種 磯貝姉	2/10(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	1/22 4名 後から思い起こし「主が私に語って下さって言うことを教えてくださった」と感謝した。
ユース 岩下兄	2/6(日) 午後2:00	LINEで 分かち合い	1/16 3名 飲酒しなくなってきたことを積極的に証しして行きなさいと示された。
Rock 鈴木洋兄	2/16(水) 午後8:30	鈴木宅	1/19 3名 聖霊様に働いていただかないと解決の答えはアドバイスできないと実感。
シャローム 平岩姉	2/12(土) 午前10:00	LINEで 分かち合い	1/22 3名 それぞれ祈る時を待ちました。特に、周りの人のために祈りました。
なつめやし 高橋智姉	2/6(日) 礼拝後	高橋宅	1/23 6名 人の事を愛して祈っているようで、実は自分の事しか考えていないんだと認めました。
リジョイス 杉本姉	2/8(火) 午前10:15	LINE 電話	1/25 3名 事前に敗北受け取らないという信仰の行動を気を付けている。
ジョイフル 穂刈兄	2/6(日) 礼拝後	交わり	1/18 6名 中止
アガベ 長塚姉	2/13(日) 礼拝後	コミュニテ ィセンター	1/23 名 中止
サクセス 鈴木勝兄			1/23 名 中止
リーダーズ セル	2/9(水) 午後7:00	Zoomで 分かち合い	1/12 24名 今週です。
セル研修	休講		
ビジョン 平岩恵兄	2/6(日) 午後1:00	平岩恵宅	1/30 名 中止
worship 長塚寛兄			1/23 名 中止
高校生 平岩姉	中止		1/23 名 中止
中学生 梅田姉	中止		1/23 名 中止
キッズ2 小山姉	中止		1/23 名 中止
キッズ1 芳井姉	中止		1/23 名 中止
Shine 小原姉	2/13(日) 午後2:30	小原宅	1/23 4名 人からされて嫌だと感じたことは、自分も改善していかなければならないと思いました。
ギデオン 芳井兄	2/12(土) 午後6:30	芳井宅	1/22 名 中止
カルバリ 野田兄	2/15(火) 午前9:00	野田宅	1/18 7名 セルに対しての言いたいことやメンバー間での言いづらいことを話してもらいました。
神の家族 伊岐見真姉	2/13(日) 礼拝後	交わり	1/24 2名 セルリーダーのためにお祈りください。

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈禱会		
		司会	奏楽		奏楽	
今週	2/6 (日)	I	大高愛姉	鈴木千姉	2/10 (木)	大高愛姉
		II	大高愛姉	鈴木千姉		
来週	2/13 (日)	I	大高愛姉	鈴木千姉	2/17 (木)	鈴木千姉
		II	大高愛姉	鈴木千姉		

祈りの課題

- ・人々の救いを覚えて
 - ▶家族知人をキリストへ
 - ▶教会近隣の人々の救い
 - ▶東海地方の救いのために
 - ▶日本の救いのために
 - ▶世界の救いのために
- ・働きを覚えて
 - ▶バイブルスタディの働き
 - ▶リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶リバイバルママズの働き
 - ▶那古野アウトリーチの働き
 - ▶祈禱会の祝福
 - ▶日曜礼拝の祝福
 - ▶牧師の働き
- ・ギデオン協会の働きのために
- ・セルグループの祝福
 - ▶LIG人生変革グループの祝福
- ・プレイヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜)	(第一) 午前 9:00~10:30 (第二) 午前11:00~12:30
キッズセル(子供礼拝) (日曜)	午前 9:00~10:30
日曜礼拝バイブルスタディ (日曜)	午前11:00~12:30 ☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ (第1、第3火曜)	(昼) 午後 1:00~ 2:30 (夜) 午後 7:00~ 8:30
祈禱会 (木曜)	午後 7:00~ 8:30
特別早天祈禱 (土曜)	午前 6:00~ 7:00



主の御手 週報

NO.1384

2022年2月6日(日) 発行 2月第1週

私たちのビジョン
〔宣教〕
(使徒の働き11:21)

主の御手が彼らとともにあったので、
大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始 9時 (第一礼拝)
開始 11時 (第二礼拝)

- ・讃美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- ・讃美
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧ください。)
- ・連絡

お願い

(1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。

(2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ **〔平安〕** 志の堅固な者を、あなたは全き平安のうちに守られます。その人があなたに信頼しているからです。(イザヤ書 26章 3節)

日曜日は教会へ



主の御手がともにある
名古屋バイブルチャーチ

〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝



「使徒2：36-37 ですから、イスラエルの全家は、このことをはっきりと知らなければなりません。神が今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。」 人々はこれを聞いて

て心を刺され、ペテロとほかの使徒たちに、『兄弟たち、私たちはどうしたらよいのでしょうか』と言った。」

自然の偉大さに心を動かされる

愛知県の東部、長野県との県境の近くに稲武（いなぶ）という町があります。この町に、今の時期にしか見ることのできない景色があります。氷瀑（ひょうばく）と呼ばれる巨大なツララです。普通、氷瀑は氷った滝のことを言いますが、稲武の氷瀑は、地元の水道屋を営む人が個人的に作ったものです。「地元によくの観光客が来てほしい」との願いから10年以上前から毎年やっているそうです。手作りの氷瀑は、山の斜面に丸太を格子状に組み、小さな穴を開けたパイプを張り巡らせて、気温が氷点下2度になった時に、山の湧き水を霧状にしてかけることで氷瀑が出来るそうです。何本もの太いツララが下に長く伸びている姿は圧巻です。その全体は、高さ約10メートル、幅約20メートルにもなるそうです。ツララは、雪が太陽に当たって溶け、したたる直前でまた凍る、ということを繰り返すことによって、どんどん下に伸びて行きます。溶けたり凍ったり、寒暖差のある気候が続かなければ、ツララは大きくなって行きません。自然のなせるわざです。また、この近くには、樹氷も見られるそうです。樹氷もまた、様々な条件が重なってできる現象です。氷点下5度以下で、ある程度の湿度があり、風が吹いて空気中の水蒸気が木にぶつかることによって氷になります。

私は、たまたまテレビを観て知りましたが、一度行ってみたいと思いました。素晴らしい景色に圧倒される時、私たちは心を動かされます。それは神様が造られたものだからです。素晴らしい景色を造られた主をほめたたえずにはいられなくなります。主への感謝の思い、喜びが湧き上がり、とても嬉しくなります。

私は、たまたまテレビを観て知りましたが、一度行ってみたいと思いました。素晴らしい景色に圧倒される時、私たちは心を動かされます。それは神様が造られたものだからです。素晴らしい景色を造られた主をほめたたえずにはいられなくなります。主への感謝の思い、喜びが湧き上がり、とても嬉しくなります。

祈りの中で心を動かされる

みなさんは、日常生活の中で心を動かされることはありますか。例えば、映画を観て感動したことや、スポーツを観戦していて、プレーする選手たちの真剣な姿を見て心を強く打たれたりすることがあると思います。また、自分がずっと求め続けてきた仕事の目標を達成できた瞬間や、久しく会っていなかった家族や知人と再会した時、他にも、主が祈りに答えてくださったと知った瞬間であったりするかもしれません。また、日々起こる問題の中で、不安や心配、恐れのおもいがやって来るとき、私たちの心は揺さぶられます。

私も、日々の祈りの中で強く示されることがあります。「あなたのうちに罪の思いはないか、人を憎んではないか、『愛します』と口では言っているけれども本当に愛しているのか。」と主

のことばが心に迫ってくる時、私の心は責められます。私たちの心は、主を信じているからこそ悪や罪に対して敏感になります。

十字架は私のためだと知る時、心を動かされる

冒頭のみことばは、ペテロが大勢の民に対して説教をしている場面での出来事です。彼は、「イスラエルの全家は、このことをはっきりと知らなければなりません。神が今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。」と民に対して語りました。それを聞いていた民は強く心を打たれました。自分の内にある罪に責められる思いがやって来ました。

「イエス・キリストを十字架につけたのは、他でもない、この私なんだ。」という思いでした。彼らは居ても立っても居られなくなり、「兄弟たち、私たちはどうしたらよいのでしょうか」と尋ねました。するとペテロは、「それぞれ罪を赦していただくために、悔い改めて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。（使徒2：38）」と答えました。彼のことばを受け入れた人々はバプテスマ、洗礼を受けました。私たちが信じた時、「イエス・キリストを十字架につけたのはこの私だ。私の罪ゆえに主は、私の身代わりとなって死んでくださったのだ。」と知って心を動かされ、信仰告白へと導かれました。

進んで主に解決を求めよう

「神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いや

はかりごとを見分けることができます。（ヘブル4：12）」とありますが、神のことばは、私たちの心の奥底にある、普段自分でも意識していないような領域の思いをも明らかにしてくださいませ。その時、神のことばが私たちの心に強く刺さります。もはや、隠れたり言い訳をしたりすることはできません。心当たりがある時に、「まあ、でも、そこまで深刻なことではないし。」と言って、放っておいてはいけません。

自分が犯している罪や問題、欠点などが明らかにされることは主からの恵みです。私たちが、その問題をきっかけにして主を求め始めるようにと促しておられるからです。そうでなければ、私たちはずっと今の場所にとどまろうとして、何の解決もないまま過ごしてしまいます。自分の問題が明らかになることを恐れてはなりません。解決はすべてイエス・キリストにあると信じます。みことばによって心を刺されるとき、「主よ、私はどうしたらよいのでしょうか」と、主に尋ねることになります。

私たちは、人から自分の問題を指摘されたり、自分ではどうにもならない状況になってはじめて、真剣に問題に向き合うということがあつたりしますが、みことばによって示されるならば、今、心の向きを変えて解決の方向に出発しなければなりません。進んで主に解決を求めて行きたいと思います。私たちが求め始める時、主がともに働いてくださることを信じます。（岩下 栄作）